



◎記事から読み取ろう

○見出し、小見出しからわかること

（日本の）_____は
（who）

_____に
（when）

_____と推計される。
（what）

○本文や分布図からわかること

_____が
（who）

_____（when）

_____を発表した。
（what）

○「□□は（が）～～」というように、
この他にわかることを書き出してみよう。

<例>

- 東京や沖縄の人口増は 30 年まで続くが、その後減少に転じる。
- (30 年以降は) 全ての都道府県で人口が減少する。
-
-

総人口1億642万人に

2045年推計 46道府県で減少

国立社会保障・人口問題研究所は30日、2045年までの都道府県や市区町村別の将来推計人口を発表した。東京や沖縄の人口増は30年まで続くが、その後減少に転じ、全ての都道府県で人口が減っていくと試算。総人口は2千万人減の1億642万1千人となり、秋田が4割以上減るなど東京を除く46道府県で15年よりも少なくなる。市区

町村の94・4％で人口が減り、4割以上減るところも40・9％に上った。約5年に1度、国勢調査や想定される出生率などを基に地域ごとの推計人口を算出する。

近年の出生率の上昇を受け、13年の前発表と比べて減少ペースは緩和したものの、65歳以上の割合は全ての都道府県で3割を超えるとされ、少子高齢化の傾

2045年の都道府県別 将来推計人口



向は変わらない。今回の推計では、20年以降も増えるのは東京、沖縄だけだが、この2都県も30～35年の間に減少に転じる。前発表では、全都道府県で減少するのは20～25年とされていたが、時期が10年先延ばしとなった。

15年人口を100とした場合の45年人口を示す指数をみると、日本全体は83・7（減少率16・3％）。人口減が著しいのは秋田の58・8（同41・2％）。佐賀は79・7（同20・3％）だった。増加するのは東京の100・7（増加率0・7％）だけだった。

(佐賀新聞 2018.3.31 付)

-
-
-

*あなたは、2045年には何歳になりますか？

_____歳

◎記事を読んで考えたことをまとめよう